

# 視察研修報告書

1 委員会名
中之条町議会議会運営委員会
2 実施名称（テーマ）
(1) 予算・決算委員会について (2) 災害時における議会対応について
3 実施期日
令和2年2月4日（火曜）・令和2年2月5日（水曜）
4 実施場所
群馬県千代田町役場 千葉県大網白里市役所
5 実施目的
予算・決算特別委員会の設置へ向けての検討に資するための先進事例の研究 災害時における議会対応について
6 参加者の氏名
委員長 福田弘明 副委員長 篠原一美 委員 安原賢一、関 常明、富沢重典、関 美香 議長 山本隆雄 副議長 齋藤祐知 議会事務局長 木暮浩志
7 その他

## 議会運営委員会視察研修等委員別報告書

1	作成者氏名
	福田弘明
2	視察研修の実施名称（テーマ）
	(1) 予算・決算委員会について (2) 災害時における議会对応について
3	実施結果に対する所感、意見等（質疑・意見交換した内容、今後の町政に生かすべき点等）
	<p>「(1) 予算・決算委員会について」</p> <p>（結論） 予算・決算委員会について予算・決算特別委員会を早急に設置し、予算という町民の皆さんに最も身近で関わりのある重要な事案について、町民の皆さんからの負託に真正面に応えられる体制を構築すべきである。</p> <p>（所感） 現在、中之条町議会での新年度予算の議案の取り扱いについては、議案上程後、それぞれの所管の常任委員会において付託をいただくのではなく、本来であれば、一つの議案を三つある常任委員会の個々の所管ごとに取扱か所を分けることはあってはならないことであるが、便宜的に分割して取り扱い、常任委員会において審議ではなく、内容の精査という、いわば勉強会というような形で取り扱われてきました。</p> <p>問題点として、町民にとって最も影響のある重要な新年度予算案に対して、所管以外の部門については 議案の説明について説明員にまで及ぶ詳細な質疑をすることが難しい、また所管以外の部分については情報の共有をすることが難しい、ひいては議員全員の情報共有ということができづらい。予算案に対しての修正を求めることが難しい、という問題点がありました。</p> <p>それぞれの常任委員会において付託され、採決できるのは陳情請願のみで、一番重要と思われる予算については採決することができません。今回勉強をさせていただいた千代田町議会においては、平成 31 年度一般会計予算案に対し、二日間にわたり、審議時間 650 分、125 項目にわたる質疑がなされた実績を伺いました。現在群馬県内の 23 の町村の中で 11 の町村において予算に関する委員会が設置されております。大網白里市においてはすでに昭和 34 年に設置されておりました。</p> <p>（提案） とにかく試行という形で取り組み、問題点があるならば、検討改善を図りながら早急に設置に向けて進むべきであると強く感じた。</p> <p>「(2) 災害時における議会对応について」</p> <p>（結論） 甚大な災害となった場合における本町の取り組み方は、災害発生時には執行側に関与しないという方針であるが、これではよろしいのではないかと思われた。</p> <p>（所感） 台風 15 号の災害時の対応について伺いました。今回の台風 15 号による大網白里市における災害時に議員から執行側への連絡は一件のみということであった。</p> <p>（提案） この件については今後も検討を続けていくべきだと思う。</p>
4	その他（今後の課題・調査研究すべきテーマ）

## 視察研修等委員別報告書

1	作成者氏名
	篠原 一美
2	視察研修の実施名称（テーマ）
	議会運営委員会視察研修 千代田町議会「予算・決算委員会」について 大網白里市議会「予算・決算」委員会について
3	実施結果に対する所感、意見等（質疑・意見交換した内容、今後の町政に生かすべき点等）
	<p>(1) 千代田町議会「予算・決算特別委員会」の運営について</p> <p>① 委員会構成 12名（議員定数：12名 全員）正・副委員長は議長が指名議員</p> <p>② 審議期間 2日間（3日目は予備日）課局ごとに審議日程を予め定める。 会計ごとに討論・採決</p> <p>③ 参加者 議会 12名全員 執行部 課長・補佐・係長 町長・副町長（冒頭のみ）</p> <p>(2) 大網白里市「予算・決算特別委員会」の運営について</p> <p>① 委員会構成 8名（議員定数：18名 総務常任委員会が中心）総務常任正・副委員長員を兼任</p> <p>② 審議期間 3日間（3日目は予備日）常任委員会ごとに審議 会計ごとに討論・採決</p> <p>③ 参加者 議会 8名 班長以上（当町では係長） 市長（冒頭のみ）</p> <p>(3) 導入メリット</p> <p>① 議員全員で質疑・討論 常任委員会ごとに予算・決算内容を質疑・討論していたものを「議案一体の質疑・討論」が可能となり、議員の資質向上につながるるとともに「質疑・討論」の効率化が図られる。</p> <p>② 導入について 委員会の運営方法を検討し、無秩序な質疑・討論が行われないよう考慮のうえ、早急に導入すべきと考える。</p>
4	その他（今後の課題・調査研究すべきテーマ）
	<p>予算全体の目的を明確に把握することができる。また、事業の推進と運営管理・その効率を追求する重要性を再認識した。また、議会事務局の負担が増加（委員会報告・議事録の作成等）が懸念される。</p>

## 視察研修等委員別報告書

1 作成者氏名
安原 賢一
2 視察研修の実施名称（テーマ）
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 予算・決算審査特別委員会について（千代田町議会）（大網白里市議会）</li><li>・ 災害時の議会対応について（大網白里市議会）</li></ul>
3 実施結果に対する所感、意見等（質疑・意見交換した内容、今後の町政に生かすべき点等）
<p>（千代田町議会）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 千代田町議会では、議会改革推進特別委員会において（全員）、他の市町村への視察研修を行い、協議を進めた。</li><li>・ 議会全体研修で、北海道足寄町議会を視察。</li><li>・ 北海道当別町議会の「予算決算審査特別委員会」を視察。</li><li>・ 予算決算審査特別委員会を設置した場合のメリット、デメリットについて説明いただき、質問に答えていただきました。</li></ul> <p>（大網白里市議会）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 大網白里市議会では、予算・決算特別委員会の設置経緯について、運営について、決算特別委員会について、説明をしていただいた。</li></ul> <p>（総括）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 2日間の視察で、全員で予算・決算委員会を運営している千代田町に近い方法が、中之条町には合っているかと思いました。</li></ul> <p>（災害時対応につい）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 大網白里市議会の災害時の議会対応について説明いただきました。</li></ul>
4 その他（今後の課題・調査研究すべきテーマ）

## 視察研修等委員別報告書

1	作成者氏名
	議会運営委員会委員 関 常明
2	視察研修の実施名称（テーマ）
	<p>予算決算委員会(仮称)の取り扱いに向けて先行議会の視察と意見交換</p> <p>群馬県 千代田町議会</p> <p>千葉県 大網白里市議会</p>
3	実施結果に対する所感、意見等（質疑・意見交換した内容、今後の町政に生かすべき点等）
	<p>○今回の視察を終えて</p> <p>進行形の事案である。予算決算委員会の実施の結論を出すタイミングが重要である。全員協議会の場でも出されたが、準備期間が不十分との意見と、試行でもいいから今予算からとの意見が半々だと感じた。時期尚早であるとか、不必要等の反対意見は出ていなかった。議会改革の中で早い時期に取り組む案件であることは全体として共有していると思う。私としては予算から取り組んでも良いと思う。</p> <p>○所感として</p> <p>準備は議会だけでなく当然町当局も扱いが変わる部分もある。綿密な打ち合わせをしていかないと運営上の問題も出てくる。準備不足との意見が出るのは当然であるが、チェック機能をきちんと発揮していくのは今までと変わらない。</p> <p>中之条スタイルは結果として出来上がっていくものだと考える。始めてから問題点も出て来るのは当然だと考える。ルールについてはそう難しい場面はないと思う。</p> <p>○視察場所のやり取りについて</p> <p>大網白里市は昭和34年から実施している。予算特別委員会は委員会で選任した人員で構成して、審査初日の冒頭で市長から概要説明をうける。審査日程は各委員会で日程をとり、担当課から説明を受け質疑応答、意見のとりまとめを行い、審査終了後、委員会として採決する。議会事務局の説明も歴史を感じる中身であった。モデルとして取り入れる方向もあると思う。</p> <p>千代田町の予算決算委員会は、議会改革特別委員会において議論が始まり、全議員で数回の視察を重ねた。議会全体で出席していただき歓迎していただいた。予算決算特別委員会を設置した場合のメリットは議案一体の原則に則り審議ができる。総合的な一体的な審議ができる。審議の効率化を図ることができるなどの説明があった。参考になる部分も多かった。</p>
4	その他（今後の課題・調査研究すべきテーマ）
	<p>上記意見と矛盾するが全体での視察の機会が必要と感じた。</p> <p>問題を全体で共有する時間を作る必要も当然ある。</p>

## 視察研修等委員別報告書

1	作成者氏名
	富沢 重典
2	視察研修の実施名称（テーマ）
	<p>議会運営委員会 県外視察研修</p> <p>予算・決算審査特別委員会の運営について</p> <p>群馬県 千代田町議会</p> <p>千葉県 大網白里市議会</p>
3	実施結果に対する所感、意見等（質疑・意見交換した内容、今後の町政に生かすべき点等）
	<p>私は以前から予算委員会を作るか、常任委員会終了後、議員懇談会を開き予算全般について所管を超えて議論・研究の機会を作るべきと思っていたが、常任委員会から予算を外して他の議会は常任委員会で何を話し合っているか常任委員会の運営方法も知りたく、大変勉強になった。</p> <p>（結論）</p> <p>中之条町議会も予算・決算審査特別委員会を作るべきと感じた。</p> <p>（所感）</p> <p>取り組むなら 千代田町議会のように全議員参加にしないと常任委員会でも説明や議論が行われ審議時間も長くなり二度手間になると感じた。</p> <p>千代田町議会の常任委員会の運営方法としてテーマを2ほど決めそのことについて審査・研究をしているとのことだが中之条町議会ですうまくいくかは、少し疑問を感じた。</p> <p>（提案）</p> <p>大網白里市議会は、昭和34年から取り組まれているが千代田町議会は、平成27年9月議会からの設立で、立ち上げの経緯の資料も残っており丁寧な進め方だと感じた。中之条町議会も全員協議会だけで進めていくのは少し無理があり、議員全員で視察を行い共通の価値観を持つべきだと思う。</p>
4	その他（今後の課題・調査研究すべきテーマ）
	<p>全議員対象の近隣市町村への視察</p> <p>その後の意見交換会</p>

## 視察研修等委員別報告書

1	作成者氏名
	関 美香
2	視察研修の実施名称（テーマ）
	(1) 予算・決算特別委員会について (2) 災害時の議会対応について
3	実施結果に対する所感、意見等（質疑・意見交換した内容、今後の町政に生かすべき点等）
	(1) 群馬県千代田町議会 4日（午後1時30分～） 庁舎玄関で町長はじめ12名の全議員そして庁舎内に入ると各課職員からの出迎えを受けた。 町長、議会全議員の出席のもと、予算・決算特別委員会についての説明を受けた。 予算・決算特別委員会を設置した場合 ①「議案一体の原則」に則り審議ができる。 ②議案の修正が可能になる。 ③審議の効率化を図る事ができる。 以上3点のメリットがある事がわかった。 また、各常任委員会においてはいままでの予算決算審議の時間を「テーマを決めて」執行部との意見交換の時間に充てている事も興味深かった。
	(2) 大網白里市議会 5日（午前9時30分～） 予算・決算特別委員会、災害時の議会対応について説明を受けた。 大網白里市議会ではS34年より予算・決算特別委員会が設置されており、メリットとして集中的かつ専門的に審議できている事がわかった。 2日間の視察研修を通して、予算・決算特別委員会の重要性を学ばせて頂いた。  災害時の議会対応については、大網白里市議会において近年、各地で頻発する災害を受けR1年5月に災害対応のポイントをまとめた「災害手帳」を作成し、災害対応の細かい部分については今後検討を重ねていくとの事。 気候変動により今後頻発するであろう災害に対して、中之条町議会においても調査・研究を行っていく必要を感じた。
4	その他（今後の課題・調査研究すべきテーマ）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予算、決算特別委員会の運営について。</li> <li>・ 中之条町議会における災害対応について。</li> </ul>